

大牟田市こども計画に係るニーズ調査の実施について

1. 今回の調査における基本的な考え方

大牟田市こども計画の策定にあたっては、大牟田市第 7 次総合計画を基本としつつ、国の「こども大綱」や福岡県こども計画の対象範囲を踏まえて施策を体系化し策定していくこととしている。

また、「こども大綱」や「福岡県こども計画」の内容は、子ども・若者育成支援推進法や子どもの貧困対策の推進に関する法律、次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て支援法など多岐にわたっていることから、調査対象者を分け、幅広い世代からニーズの把握を行うこととする。

なお、こども計画のうち、子ども・子育て支援事業計画に係る調査については、こども家庭庁より発出された「第三期市町村子ども・子育て支援事業計画における『量の見込み』の算出等の考え方」等を踏まえつつ、市の現状及び課題の分析につながる設問の追加などを行う。

2. 調査概要

就学前児童の保護者、小学生とその保護者、中学生とその保護者、若者を対象としたアンケート調査を実施し、その対象者及び家族の生活実態を把握するとともに必要な取り組みへの参考とする。

(1) 就学前児童の保護者向けアンケート調査 【前回実施】

対象者数：約 2,900 件（4 月 1 日時点で 5 歳以下の子がいる世帯すべて）

調査方法：案内文（web ページの URL、QR コード入り）を郵送し、
web ページにより回答

調査項目：45 問程度

保護者の就労状況、子育て支援事業等の利用の有無、
子育て情報の入手先、有効な子育て支援策、次の子を持つ希望、
一時預かり事業の利用状況 など

(2) 小学 5 年生及びその保護者に係るアンケート調査 【新規実施】

対象者数：①小学 5 年生 約 850 人、②その保護者 約 850 人

調査方法：学校を通じて案内文（web ページの URL、QR コード入り）を配布
し、web ページにより回答

調査項目：45 問程度

① 小学生

食事・睡眠の状況、生活への満足度、インターネットの利用状況、

悩みや相談先の有無、自分の居場所の有無、ヤングケアラー、
子どもの権利に関すること など

② 保護者

就労状況、子どもとの関わり方、教育、子どもの体験活動、
子育て情報の入手先、有効な子育て支援策 など

(3) 中学生及びその保護者に係るアンケート調査 【新規実施】

対象者数：①中学 2 年生 約 900 人 ②その保護者 約 900 人

調査方法：学校を通じて案内文（web ページの URL、QR コード入り）を配布
し、web ページにより回答

調査項目：45 問程度

①中学生

食事・睡眠の状況、生活への満足度、インターネットの利用状況、
悩みや相談先の有無、自分の居場所の有無、ヤングケアラー、
子どもの権利に関すること など

②保護者

就労状況、子どもとの関わり方、教育、子どもの体験活動、
子育て情報の入手先、有効な子育て支援策 など

(4) 若者に係るアンケート調査 【新規実施】

対象者数：①市内に在住する 15～39 歳の市民 無作為抽出 2,000 人

②市内の高校に通う高校生 約 3,900 人

調査方法：案内文（web ページの URL、QR コード入り）を郵送し、
web ページにより回答

調査項目：40 問程度

職業(学生含む)、自分の居場所の有無、学校（仕事）以外の活動、職
業についての考え方、結婚について、子どもを持つことについて、
ヤングケアラーに関すること など